

時をつなぐ、すのまた宿・池田屋脇本陣の今、そしてこれから

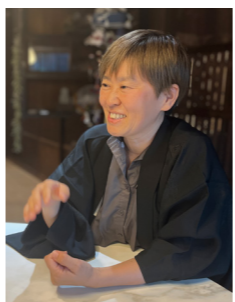
その圧倒的な存在感で国内外の人々を引きつける、池田屋脇本陣。

そんな地域が誇る古民家が、今春から民泊をスタートしたニュースは明るい話題となりました。同建物を管理する吉田良子さんに、まちの生き証人にかける情熱を伺いました。

海外から熱視線を集める築130年の古民家

べつこう色を通り過ぎ、黒くろとしたツヤを帯びた扉や階段、そして古くは紀州徳川家が宿泊したという奥の間の鴨居……。一つひとつのしつらえから感じられるのは、えも言われぬ品格です。令和となった今になっても異彩を放つ池田屋脇本陣は、世界中の人々の感動を呼んでいます。

今年春より民泊をスタートさせて以来、宿泊組数は半年ですです



空間建築工房 取締役 吉田 良子さん

幼い頃から脇本陣の向かいに住んでいた、生粋の地元っ子。池田屋脇本陣を取得したものの、「憧れのお屋敷に住むなど、考えられなかったこと。今後もしは、管理人のひとりでありたいですね」と謙虚に微笑ま

50組を数えます。管理・運営を手掛ける吉田良子さんは、海外からこぞつてやってくるその客層について、笑みを浮かべてこう語りました。

「アメリカやヨーロッパはもちろん、エストニアやカザフスタンなど日本人には普段馴染みのない国々からもお客様がいらしています。その特徴は、日本文化に對してリスペクトがあること。この古民家に宿泊することを、ただ目指して来る方が多いですね。日本人と違ってほとんどが連泊し、観光をするわけでもなく、ゆっくりとひとときを楽しんでいきます。東京と大阪の中間地点でもあることから、ここで旧交を深め



傷んだ部分だけを丁寧に切り取り、新しい木材を継ぎ足して再生した柱（写真左）と、当時の梁をそのまま生かし、趣のある表情を残した梁天井（写真右）。伝統的な自然素材だけではなく、耐震技術と最新鋭の素材も生かしたリノベーションで、暖かく快適な空間に

魅力でした。

「以前から建築を手掛ける傍ら抱いていたのは、『ロマンのある仕事をしたい』、『いつか文化に寄与する仕事をしたい』という思いです。日本人の技術と誇りがつまった屋敷をより多くの人に見てもらいたいと思ひ、ここを常時解放しています」

単に見てもらおう空間としてだけでなく、リノベーション相談を受けられる体制も構築し、全国古民家再生協会岐阜西濃を設立。古民家保護・普及という活発な活動の背景にあるのは、「本物を伝えたい」というただ一心です。

「メインの素材である木はもちろん、竹小舞と呼ばれる壁の下地ワラと土を発酵させた土壁、土を焼いてつくる瓦。自然のことわりに倣う池田屋脇本陣の設計は、先人の遺した優れた見本であり日本文化の誇りです。同じく伝統工芸で建てられた古民家をお持ちの方々が大切に保存・改修するヒントを得られる場になってくれたら。そして地元の人々には、ふる里の誇り高いルーツを感じていただけたらと思います」

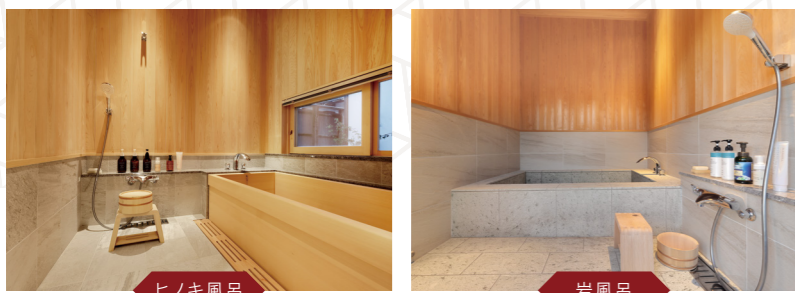
地元の人々だけでなく天下人の耳目を集め、今や世界から熱視線を浴びる存在に。墨俣に根付く池田屋脇本陣は、失ってはならない地元の歴史遺産。より多くの人に愛される空間にすべく、その魅力を地域一丸となって発信していきたいですね。

時を超えて人々をとりこにする、希有な古民家



庭園

民泊室



ヒノキ風呂

岩風呂

海外の人々から大人気というお風呂は、ヒノキ風呂と岩風呂の2種類を用意。庭園からゆるやかな時間を感じ、ふわふわのベッドでゆっくり眠る…。時代を超えた幸せがここにありま

等の最新素材を活用しました。そうすることで「夏は涼しく、冬は暖かい」古民家に変身。現代の職人達の情熱が実を結び、池田屋脇本陣は快適さと風格を兼ね備えた空間としてよみがえりました。

どこをみても魅力的 その息吹を全国に！

吉田さんは丸2年をかけたリノベーションと並行して、飲食にまつわる食品衛生責任者、住宅宿泊管理業者といった資格・法律関係を順次クリア。建築を専門としてきただけに、消防法や住宅宿泊業に明るかったことも幸いし、全国的にも珍しいカフェを併設する民泊施設を発足させました。そんな脇本陣の見どころはじつに多彩。実は、居並ぶ天下人と関わりがあったという、安藤伊賀守守就にゆかりがあるそう。この安藤一族は、あまりに勢力をもったことで織田信長公に狙われました。そのため豊臣秀吉の刀狩りの前に侍であることをやめ、領主に戻って暮らしというエピソードが残っています。そんな歴史もゲストを引きつけています。

趣深い歴史的背景を感じられる空間と、カフェで食べる美味しい食事、そして古民家という伝統的建築物。とにかく多彩な見どころに富んでいる点が、池田屋脇本陣の大きな特色。そして、何よりも吉田さんが広く伝えたいと願うのは、日本人の誇りである古民家の

INFORMATION
すのまた宿
池田屋 脇本陣
電話/
0584-84-3781
住所/
大垣市墨俣町墨俣115
美濃郡墨俣宿 脇本陣跡
P/有
他/ 宿泊は1日2組限定
(最大宿泊人数10人)

[CAFE]
脇本陣カフェ
「旬野菜のせいり蒸しご膳」など、こだわりあふれる上質なランチを楽しめるカフェ。地元の人々が気軽に訪れて世界からの宿泊客とも交流できる、にぎやかな空間となっています。

お食事
10:30～
L.O.16:30

旬野菜のせいりに、薬味・スープ・ご飯・おぼんざいを添えたランチは季節の恵みを味わえる一膳。こだわりのスイーツも人気です

スイーツ
&ドリンク
10:00～
L.O.16:30